

# KONISHI REPORT

---

## 第90期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日



 **コニシ株式会社**

証券コード：4956

# 新中期経営計画達成に向けて新たな一歩を!



当連結会計年度におけるわが国経済は、日本銀行による金融緩和などの各種政策による円安や株高により、景気回復への期待が高まっておりますが、新興国における経済成長の減速や、円安による原材料価格の上昇、消費税増税後の個人消費の落ち込みなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては消費税増税前の駆け込み需要の反動を大きく受け、戸建て住宅を中心に新設住宅着工戸数が大きく減少する状況となりました。土木建築業界においてはインフラ関連を中心とした補修・補強工事およびストック市場における補修・改修工事などの需要が引き続き高まっております。しかしながら、作業員不足による工事着工および完工の遅れも見受けられてきております。自動車業界においては、国内は低調に推移しましたが、北米をはじめとした海外市場の伸長や円安の影響により総じて堅調でありました。電子・電機業界においては、スマートフォンなどの携帯端末市場は好調に推移しましたが、全体としては依然として厳しい環境が継続しております。このような状況のもと、当社グループにおきましては、当連結会計年度を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い事業を推進してまいりました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高1,157億88百万円(前年同期比2.6%増)、

営業利益53億12百万円(前年同期比18.0%減)、経常利益54億64百万円(前年同期比18.5%減)、当期純利益30億45百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

当社グループは、平成28年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定しており、平成30年3月期が目標到達年度になります。ボンド事業部門においては、コア事業と位置づける汎用、住宅関連、建設関連事業で販売の拡大、次の柱となる土木、産業資材分野、海外への積極展開を図ってまいります。生産拠点の見直しと集約化による生産部門の効率化、物流体制の再構築による物流サービスの質的向上を推進するとともに、徹底した低コスト体質への変革にも取り組んでいきます。化成品事業においては部門、国内外を問わず、成長する分野、地域に照準を合わせ、コア事業での販売を拡大するとともに、新規商材、新規顧客の開拓を図り商品の高付加価値化と海外への進出を実現できる体制の構築を目指してまいります。また、関係会社3社を中心に展開する工事請負事業(土木建設工事業)をボンド、化成品に次ぐ主力事業へと育成すべく事業展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

よこ た たかし  
代表取締役社長 横田 隆

# 》》 連結財務ハイライト

個別財務ハイライトについてはP.8をご覧ください ▶▶▶

## 売上高

115,788  
百万円

前期比  
2.6%増▲

(百万円)

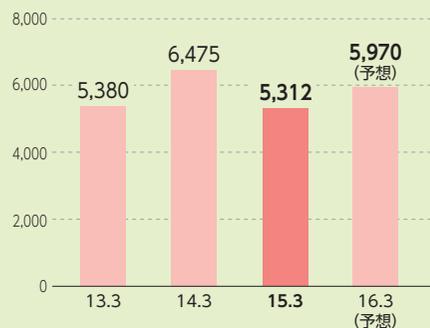


## 営業利益

5,312  
百万円

前期比  
18.0%減▼

(百万円)



## 経常利益

5,464  
百万円

前期比  
18.5%減▼

(百万円)



## 当期純利益

3,045  
百万円

前期比  
18.6%減▼

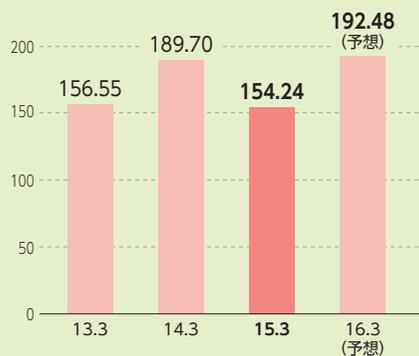
(百万円)



## 1株当たり当期純利益

154.24円

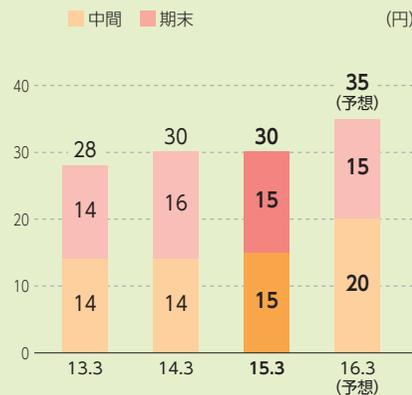
(円)



## 1株当たり配当金

30円

(円)



## ポイント解説

- 消費税増税前の駆け込み需要の反動が長引き、厳しい環境で推移しましたが、M&Aにより取得した新規連結子会社が貢献し、売上が増加しました。
- その他事業の工事請負事業(土木建設工事業)において、インフラおよびストック市場における補修改修・補強工事が堅調に推移したこと等が売上に貢献しました。
- 営業利益は原材料コストおよびエネルギーコストの上昇、また生産物流体制強化のための投資に伴う減価償却費の増加等により前期実績を下回りました。

\*2016年3月期中間配当は、普通配当15円に株式会社設立90周年記念配当5円を加えています。

# セグメント別の状況

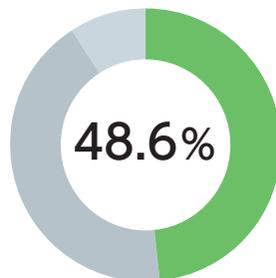
## ボンド事業部門

### 事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどのメーカーとしての活動を行っています。ボンド事業部門が関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを直す際に使用される土木建築分野、工場でのものづくりで使用される産業資材分野、工作・DIYで使用されるコンシューマ分野など多岐に亘ります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、製品の改良・開発を行っています。生産拠点は滋賀工場・栃木工場・浦和工場の三拠点です。また、滋賀と栃木には自社で物流センターを構え、スピーディーな出荷とお客様へのサービス向上を目指し運営しています。



売上高構成比



売上高 **56,227** 百万円

前期比 **+2.1%**

営業利益 **4,303** 百万円

前期比 **-18.6%**

### セグメント構成

コニシ(株) ボンド営業本部  
 水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株)  
 矢沢化学工業(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株)  
 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司  
 Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)  
 Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)

## 当連結会計年度の概況

### 住宅関連

消費税増税の影響により、戸建て住宅の着工戸数が大きく減少したことから、内装工事用接着剤・戸建て用シーリング材およびテープ等の売上が前年を下回りました。

### 産業資材関連

紙関連用途向け水性接着剤は前年並みで推移し、パネル用途向けウレタン系接着剤は売上を伸ばしました。一方、自動車シート用離型剤は前年実績を下回りました。



### 土木建築関連

道路、鉄道、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事向け接着剤や工法の売上が堅調に推移しました。ビル、マンション等のリニューアル工事向け補修材の売上は、夏場以降に受注が持ち直しましたが、工事発注が集中している首都圏以外の地域で年度末にかけて低迷いたしました。

### 一般家庭用関連

ホームセンターにおける新規定番商品獲得や、メディアを活用した販促活動等により手芸関連製品が売上を伸ばしたものの、全体としては前年並みで推移しました。

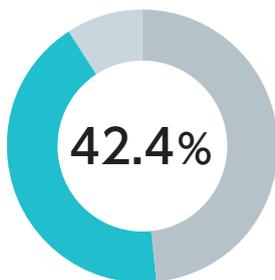


## 化成品事業部門

### 事業内容

企業間を結ぶ専門商社として、メーカーから原料を仕入れて、ユーザーに販売するといった活動を行っています。化学品、塗料、電子電機、自動車、生活資材などの分野を中心に、中国、台湾、タイ、インド、インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。

売上高構成比



売上高 **49,169** 百万円

前期比 **+0.4%**

営業利益 **383** 百万円

前期比 **-29.3%**

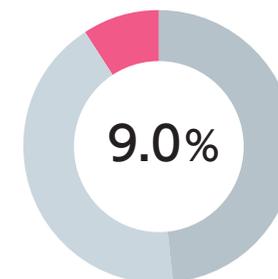


## その他

### 事業内容

高速道路や鉄道、学校や病院などの補修・補強や耐震化工事を請け負い、現場の施工管理を行う工事請負事業および橋梁・高速道路の工事における新設上部床板工事業を主たる事業として行っています。

売上高構成比



売上高 **10,391** 百万円

前期比 **+17.5%**

営業利益 **617** 百万円

前期比 **-3.7%**



## 当連結会計年度の概況

### 化学工業および塗料業界向け

化学工業向けにおいては、産業向け商品を中心に需要減となる中、プラスチック原料、樹脂添加剤が堅調に推移し、売上を伸ばしました。堅調だった建築塗料向けの商材は需要減により、前年実績を下回りました。

### 電子・電機業界向け

光学関連向け樹脂が好調でありましたが、メディア関連向けが不調で全体としては売上が前年実績を下回りました。

### 自動車業界向け

北米向け自動車販売やパーツメーカーの輸出が好調に推移しましたが、国内向けは消費税増税の影響により不調であり、売上は前年並みとなりました。

### セグメント構成

コニシ(株) 化成品営業本部  
丸安産業(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)  
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド)  
台湾丸安股份有限公司

## 当連結会計年度の概況

### 工事請負事業(土木建設工事業)

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が堅調に推移し、また、前期からの持ち越し工事および当期の受注工事が予定よりも早く完工したこともあり売上を伸ばしました。

### セグメント構成

コニシ(株) 不動産部門  
ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株)  
コニシ工営(株) 近畿鉄筋コンクリート(株)

## 強い物流体制の構築 ～東西物流センター建設～

当社では、平成27年3月期を最終年度とする中期経営計画の中で「強い生産・物流体制」を経営戦略の一つに掲げ、活動を行ってきました。平成24年には、栃木県下野市にあります当社栃木工場の向かい側に東日本における物流の要となる「栃木物流センター」を建設、続いて平成26年には西日本の物流センターとして滋賀県甲賀市にある滋賀工場敷地内に「滋賀物流センター」を建設するなど、合わせて約25億円の投資を行いました。

両物流拠点開設にあたり新物流システムを導

入し、製造工場とのタイムリーな入出庫および在庫のロケーション管理、ロット管理など、従来かかっていたコストの削減やお客様への更なるサービス向上を目指しています。今期は、栃木物流センターでの一般倉庫、危険物倉庫追加建設を予定しており、更なる物流体制の強化を図っていきます。

また、今後は関係会社を含めた物流拠点の集約化を目指しており、コニシグループとしてお客様によりよいサービスを提供することはもちろんのこと、更なるコスト削減に取り組んでまいります。



栃木  
物流センター

### 栃木物流センター概要

住所：栃木県下野市柴262-6  
 総敷地面積：約23,000㎡  
 稼働：平成24年7月  
 内容：一般倉庫、危険物倉庫、テント倉庫



滋賀  
物流センター

### 滋賀物流センター概要

住所：滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘3  
 総敷地面積：約21,000㎡  
 稼働：平成26年10月  
 内容：二階建て一般倉庫（屋上に太陽光パネル設置）、危険物倉庫



倉庫の前はトラックのロータリーとなっており、入出庫の時間には多くのトラックが行き来します。



5段ラックに整然と並べられた製品はすべてシステムでロケーション管理され、出荷の時を待っています。



夕方になると全国へ出荷するトラックで混雑します。製品は貼り付けられた荷札で仕分けし、運送業者毎に集荷されていきます。



1

## 栃木営業所・沖縄営業所開設

平成26年4月1日付にて、栃木営業所を開設しました。栃木・茨城・福島県南エリアを中心に地域に密着して新規需要を取り込むべく活動を行っています。また、平成27年1月1日には沖縄営業所を開設しています。当社が注力しているビル・マンションといったコンクリート構造物の改修・改築工事需要が今後増えていくと予想されている同地域において、現地に営業所を構えるメリットを最大限利用し、ビジネスの拡大およびお客様へのサービス向上を目指していきます。



栃木営業所



沖縄営業所

2

## 「ボンド 木工用多用途」発売

昨年8月に「ボンド 木工用多用途」を発売しました。従来、木・紙・布同士を貼り付ける用途として、「ボンド 木工用」を発売していましたが、使用者の皆様からは、DIYや手芸の現場において、木と金属や布とプラスチックなどを接着する機会が多いという要望がありました。これらの声にお応えし、開発した「ボンド 木工用多用途」は、従来の用途はもちろんのこと、木と金属、木とプラスチックなどを接着することが可能となりました。全国のホームセンター、量販店で発売しています。



ボンド 木工用多用途  
50g / 220円(税抜)  
180g / 450円(税抜)

3

## 「ボンド」商品ホームページを一新!!

平成27年3月31日に「ボンド」商品のホームページを一新しました。コニシがどのような商品を取り扱っているのかが一目でわかるよう、また、お客様に商品選定をスムーズに行っていただけるようにトップページをカテゴリー分けし、より目的の商品を検索しやすいようにしています。なお、今回のリニューアルでスマホやタブレット端末でも自動的に見やすくレイアウトされるシステムを採用し、幅広い検索ツールになるよう配慮しています。

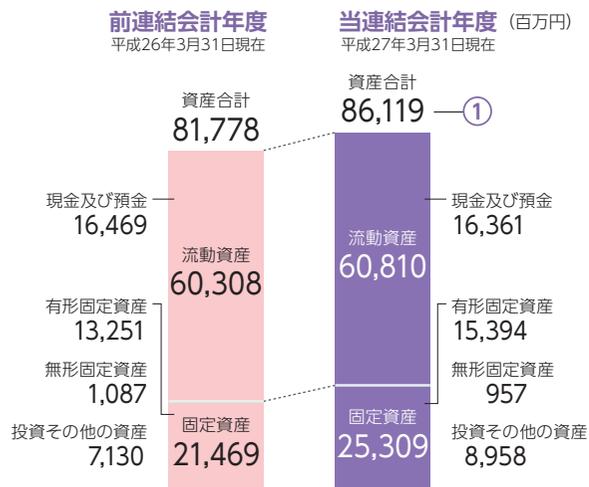


ボンド製品ホームページ : <http://www.bond.co.jp/bond/>

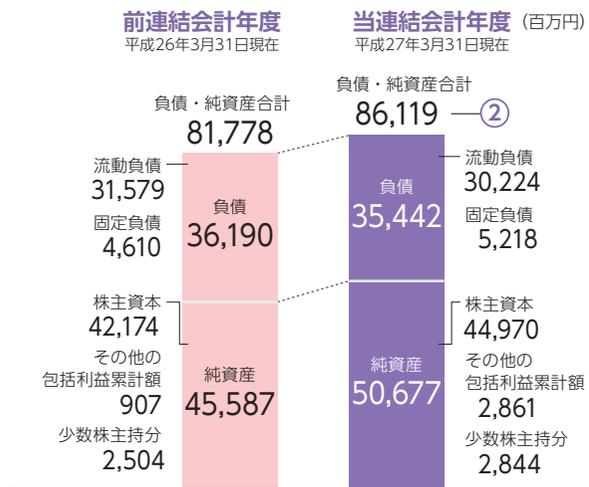


## 》 連結貸借対照表

### 資産の部



### 負債・純資産の部



## ポイント 1 資産

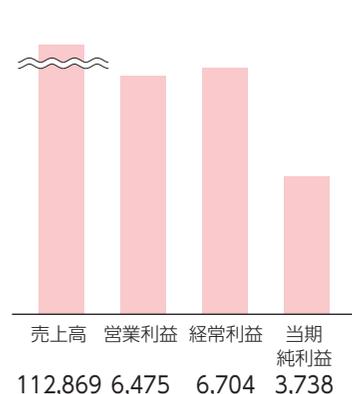
資産は、有形固定資産が21億43百万円、投資有価証券が9億20百万円、退職給付に係る資産が8億62百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ43億41百万円増加しました。

## ポイント 2 負債・純資産

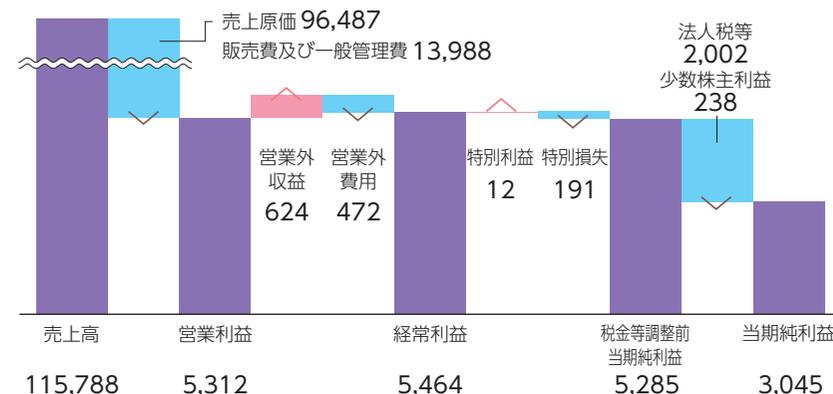
負債は、繰延税金負債が8億47百万円増加したものの、未払法人税等が10億70百万円、退職給付に係る負債が7億3百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億47百万円減少しました。純資産は、利益剰余金が27億95百万円、その他有価証券評価差額金が9億83百万円、退職給付に係る調整累計額が7億29百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ50億89百万円増加しました。

## 》 連結損益計算書

前連結会計年度  
平成25年4月1日～平成26年3月31日 (百万円)



当連結会計年度  
平成26年4月1日～平成27年3月31日 (百万円)

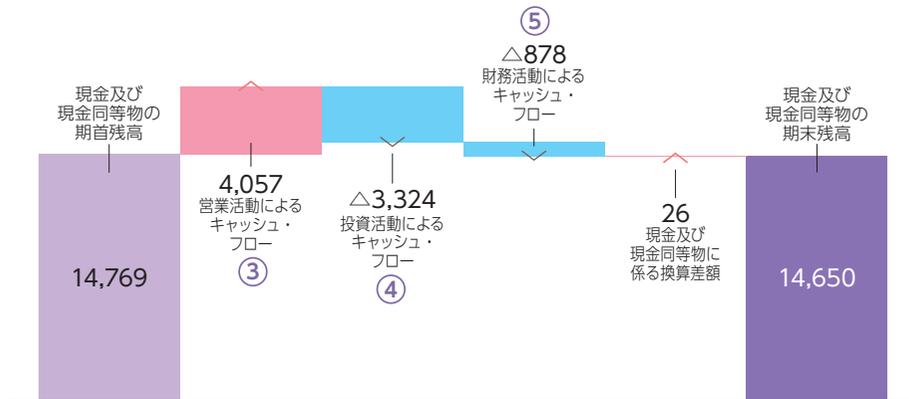


## ① 連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(百万円)



### ポイント ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額が29億5百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が52億85百万円、減価償却費が16億58百万円あったこと等により40億57百万円となりました。

### ポイント ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

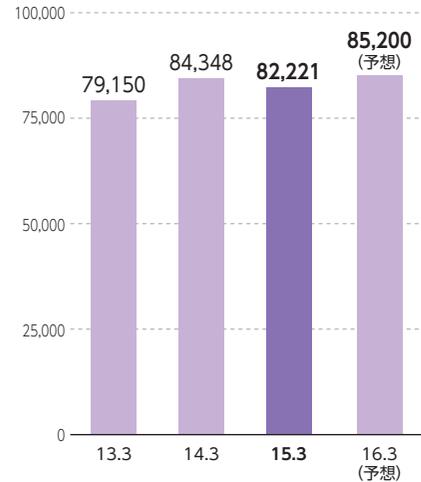
投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が31億5百万円あったこと等により33億24百万円となりました。

### ポイント ⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が6億11百万円あったこと等により8億78百万円となりました。

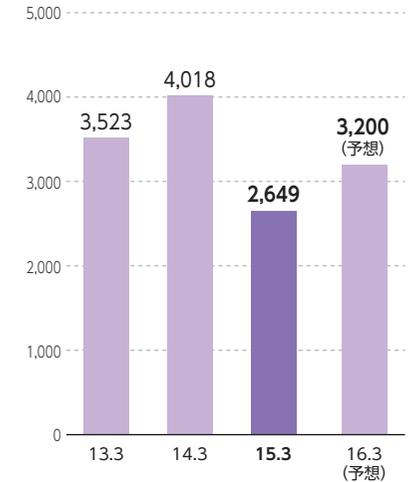
## ② 売上高

(百万円)



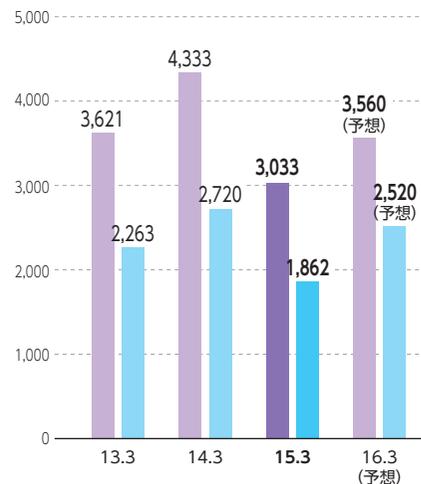
## ③ 営業利益

(百万円)



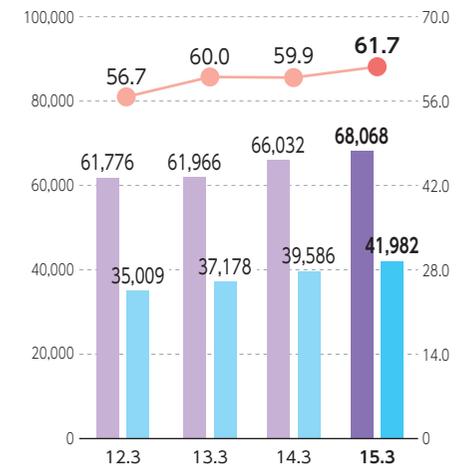
## ④ 経常利益・当期純利益

(百万円)



## ⑤ 総資産・純資産・自己資本比率

(百万円・%)



# 》》 会社概要

## 》 会社概要

(平成27年3月31日現在)

設 立	1925年(大正14年)9月25日
資 本 金	46億3百万円
従 業 員 数	連結1,155名、単独688名
証 券 コード	4956
事 業 所	本 店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号 大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル 東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア
支 店	名古屋、福岡、札幌
営 業 所	仙台、栃木、高崎、横浜、金沢、広島、高松、沖縄
製 造 拠 点	栃木工場、浦和工場、滋賀工場
研 究 所	浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所
物 流 拠 点	栃木物流センター、滋賀物流センター

## 》 役員

(平成27年6月19日現在)

取締役会長兼 コニシグループ代表	大丸 智夫	常勤監査役	東郷 正人
代表取締役社長	横田 隆	監査役	竹内 鈴子
取 締 役	小西 哲夫	監査役	狩野 仁
取締役常務執行役員	日下部 悟	執行役員	野田 昌治
取締役執行役員	須藤 孝也	執行役員	松端 博文
取締役執行役員	有澤 彰三	執行役員	大山 啓一
取締役執行役員	井上 孝一郎	執行役員	中村 耕一
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	巖 利彦
		執行役員	吉川 洋明



# 株式の状況

## 株式の状況

(平成27年3月31日現在)

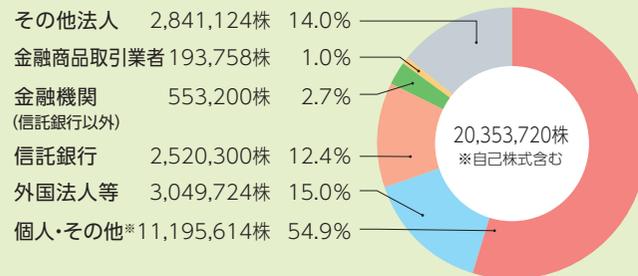
発行可能株式総数 ..... 80,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 20,353,720株  
 1単元の株式数 ..... 100株  
 株主数 ..... 5,495名

### 大株主 (上位10名)

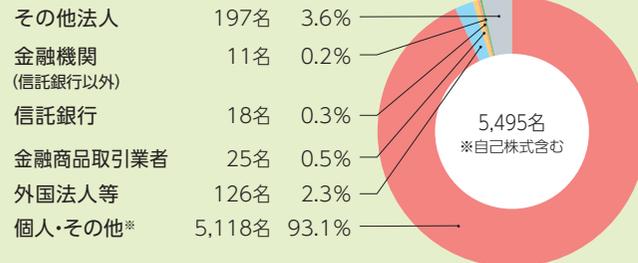
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
小西信一郎	1,485	7.52
コニシ共栄会	1,160	5.87
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	633	3.21
小西千代子	410	2.07
コニシ従業員持株会	361	1.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	1.78
井上道子	345	1.74
株式会社カネカ	342	1.73
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	322	1.63
小西哲夫	309	1.56

(注1) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 (注2) 持株率は、自己株式(611,347株)を控除して算出しております。  
 (注3) 小西信一郎氏は平成27年1月15日に逝去されましたが、相続に伴う名義書換が未了のため、平成27年3月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。

### 所有者別株式数の分布状況



### 所有者別株主数の分布状況



## 株価および株式売買高の推移



# WEB SITE

## ホームページ紹介

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス  
<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/">http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811  
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの  
認証紙と水なし印刷方式を採用し  
ています。